

令和6年度 江東商業高等学校 年間授業計画

教科：（ 商業 ） 科目：（ 商選AB 原価計算 ） 単位数：（ 2単位 ） 対象：（ 第2学年 A組～E組 ）

教科担当者：（ ABC組：土谷 ）（ DE組：舟屋 ）

使用教科書：（ 190東法 商業721 原価計算 ）

教科・科目の目標：

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 原価計算について実務に即して体系的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 原価計算に関する知識・技能を習得し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (3) 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
--

評価の観点：

【知識・技能】：知	【思考・判断・表現】：思	【主体的に学習に取り組む態度】：主
製造業における原価計算の処理や記帳手続を適切に処理し、必要な書類や報告書等を作成することができる。	工業簿記と原価計算の関係性を理解し、その目的を理解した上で、各製造業に合った適切な原価計算を正確に処理することができる。	問題集や補助資料を自らの学習を定着させるように工夫することができる。学習理解度を確認するため、自主的に問題集等を活用することができる。

	単元項目	学習内容	評価規準	評価の観点			配当 時数
				知	思	主	
1 学 期	1 原価と原価計算 2 原価計算のあらまし 3 工業簿記	・工業簿記と原価計算の関係を理解させる。 ・原価計算の種類を理解させる。 ・工業簿記の一連の記帳方法を説明し、全体的構造を理解させる。	次の項目を中心に評価する ・原価計算の種類 ・工業簿記の一連の記帳	○	○	○	5
	4 材料費の計算と記帳 1 4 材料費の計算と記帳 2	・材料の消費と記帳方法について理解させる。	次の項目を中心に評価する ・材料の消費と記帳方法	○	○	○	13
	5 労務費の計算と記帳 1 5 労務費の計算と記帳 2	・労務費の分類とその内容を理解させる。 ・賃金の消費と記帳方法について理解させる。	次の項目を中心に評価する ・労務費の分類とその内容 ・賃金の消費と記帳方法	○	○	○	
	6 経費の計算と記帳	・経費の意味と分類を理解させる。 ・経費の消費高の計算方法と記帳方法について理解させる。	次の項目を中心に評価する ・経費の意味と分類 ・経費の消費高の計算方法と記帳方法	○	○	○	
	中間考査						
	7 個別原価計算	・個別原価計算のしくみを理解させる。 ・原価計算表の記入方法を理解させる。 ・予定配賦率による配賦を理解させる。	次の項目を中心に評価する ・個別原価計算のしくみ ・原価計算表の記入方法 ・予定配賦率による配賦	○	○	○	20
	8 部門別個別原価計算	・部門別個別原価計算のしくみを理解させる。 ・部門費配分表 ・部門費振替表を作成させ、それぞれにもとづく仕訳を習得させる。	次の項目を中心に評価する ・部門別個別原価計算のしくみ ・部門費配分表 ・部門費振替表を作成と仕訳	○	○	○	
	期末考査						
2 学 期	9 総合原価計算 1	・個別原価計算と総合原価計算の違いを明らかにする。 ・総合原価計算の種類を理解させる。	次の項目を中心に評価する ・個別原価計算と総合原価計算の違い ・総合原価計算の種類	○	○	○	20
	9 総合原価計算 2	・単純総合原価計算の種類を理解させる。 ・月末仕掛品原価の計算方法について説明し、理解させる。	次の項目を中心に評価する ・単純総合原価計算の種類 ・月末仕掛品原価の計算方法	○	○	○	
	9 総合原価計算 3	・等級別総合原価計算を理解させる。 ・組別総合原価計算を理解させる。	次の項目を中心に評価する ・等級別総合原価計算 ・組別総合原価計算	○	○	○	
	10 工程別総合原価計算	・工程別総合原価計算の意味と目的を理解させる。 ・工程別総合原価計算の手続きと記帳方法を理解させる。	次の項目を中心に評価する ・工程別総合原価計算の意味 ・工程別総合原価計算の手続きと記帳方法	○	○	○	
	中間考査						
	11 製品の完成と販売 12 決算と本社・工場間の取引	・製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解させる。 ・製造原価報告書の作成方法について理解させる。 ・工場会計の独立と、その記帳方法について理解させる。	次の項目を中心に評価する ・製品の完成と販売に伴う手続き ・製造原価報告書の作成方法 ・工場会計の独立と、その記帳方法	○	○	○	26

3 学 期	13 標準原価計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解させる。</li> <li>完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解させる。</li> <li>原価差異の計算とその分析方法を理解させる。</li> </ul>	次の項目を中心に評価する <ul style="list-style-type: none"> <li>標準原価計算の意義と特色</li> <li>完成品と仕掛品の標準原価</li> <li>原価差異の計算とその分析方法</li> </ul>	○	○	○		
	14 直接原価計算 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接原価計算の意義と特色を理解させる。</li> <li>直接原価計算が利益計画に適していることを理解させる。</li> <li>直接原価計算による損益計算書の作成方法を理解させる。</li> <li>CVP分析を理解させる。</li> </ul>	次の項目を中心に評価する <ul style="list-style-type: none"> <li>直接原価計算の意義と特色</li> <li>直接原価計算による利益計画</li> <li>直接原価計算による損益計算書の作成</li> <li>CVP分析</li> </ul>	○	○	○		
	期末考査							
	全商簿記実務検定試験 1級原価計算受験演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>復習および答案演習（全範囲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出題内容をこれまでの評価基準にあてはめる。</li> </ul>	○	○	○	9	
	日商簿記検定2級（原価計算）	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去問題を解答し、分析をおこなう。</li> </ul>	次の項目を中心に評価する <ul style="list-style-type: none"> <li>過去問題の理解度</li> </ul>	○	○	○	14	
	期末考査							
							合計	107